

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【公開番号】特開2019-78947(P2019-78947A)

【公開日】令和1年5月23日(2019.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2019-019

【出願番号】特願2017-207380(P2017-207380)

【国際特許分類】

G 0 3 B	21/14	(2006.01)
G 0 3 B	21/00	(2006.01)
F 2 1 S	2/00	(2016.01)
F 2 1 V	5/04	(2006.01)
H 0 4 N	9/31	(2006.01)
H 0 1 S	5/40	(2006.01)
H 0 1 S	5/022	(2006.01)
F 2 1 Y	113/13	(2016.01)
F 2 1 Y	115/30	(2016.01)

【F I】

G 0 3 B	21/14	A
G 0 3 B	21/00	F
F 2 1 S	2/00	3 3 0
F 2 1 V	5/04	2 0 0
F 2 1 V	5/04	6 0 0
H 0 4 N	9/31	5 0 0
H 0 1 S	5/40	
H 0 1 S	5/022	
F 2 1 Y	113:13	
F 2 1 Y	115:30	

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月23日(2020.9.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

複数の半導体レーザー22は、基板21の実装面21a上に長手方向L1(第1方向)に沿って間隔を置いて配列されている。複数の半導体レーザーの各々は、発光領域を短手方向L2に向けて配置されている。したがって、各半導体レーザーから射出される光の中心軸の向きは、長手方向L1に交差する短手方向L2と等しい。以下の説明において、複数の半導体レーザーから射出される複数の光をまとめて光線束と称する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 6】

第1シリンドリカルレンズ231および第2シリンドリカルレンズ232の各々は、第

1 実施形態と同様、凸状のレンズ面と平面とを有する平凸レンズで構成されている。第1シリンドリカルレンズ231および第2シリンドリカルレンズ232の各々は、各シリンドリカルレンズ23の母線Vの方向と半導体レーザー22の発光領域22cの長手方向W₁とが平行になるように配置されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0076

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0076】

ダイクロイックミラー240は、青色光LB2を反射させ、赤色光LR2および緑色光LG2を透過させる。ダイクロイックミラー220は、緑色光LG2を反射させ、赤色光LR2を透過させる。反射ミラー210および反射ミラー230は、赤色光LR2を反射させる。反射ミラー250は、青色光LB2を反射させる。赤色光LR2の光路上には、リレーレンズ260とリレーレンズ270とが設けられている。